



聖ヨハネ会だより

第41号 平成29年12月

平成29年を振り返って

法人事務局長 竹川 和宏

今年度は法人にとっては社会福祉法が全面施行された年であり、様々な新しい取り組みを実施した年となりました。経営の基本方針に係る議決機関となった評議員会を6月に開催し、平成28年度決算、社会福祉充実残額、新役員の選任、役員の報酬等の支給の基準、会計監査人の選任について承認を受けました。そして理事会は業務執行に関する意思決定機関として位置づけられ、新役員選任後の理事会で渡邊理事長を互選し、業務執行理事を5名選任しました。

法人のガバナンス強化として会計監査人による監査が今年度より始まり、法人本部を中心に監査が実施されています。さらに内部管理体制を整備することが義務付けられ、いわゆる内部監査の実行体制を作っていくことが求められており、外部の専門機関の協力を得ながら進めていきたいと考えています。また平成28年度の決算報告、事業報告等、所轄庁への現況報告書、定款、役員報酬基準等についてホームページで公表しましたのでご参考くださればと思います。

社会福祉法人も自立した経営体制を作っていくことがこれまで以上に求められており、社会福祉事業等へ計画的に再投資していくために必要な資金があるか否かを「社会福祉充実残額」という形で表すことになりました。これは毎年算出することになります。この残額状況も鑑みながら、中期経営計画を策定し法人の全体構想や各部門の具体的な計画を展開していくことになっていきます。このことについては利用者のご家族や民生委員から構成される法人の「運営協議会」を今年度より新たに立ち上げ、ご要望やご意見をうかがう機会を持つことで今後のサービス等に反映していくこととしていきます。

東京オリンピック・パラリンピックの開催まで1000日を切り、いよいよ大きなイベントに向けた動きが始まるなどという実感が湧いてくるようになりました。ヨハネ会もまた新たなステージに向けて進んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



特別診療券について

桜町病院地域医療連携室 係長 齋藤優喜子

桜町病院は無料低額診療を行っている病院です。その事業のひとつに特別診療券を使った受診対応があります。経済的に困窮している方に対して、特別診療券を発行し、当院が外来診療費を負担することで必要な医療を提供するというものです。連携室はその窓口となっており、医療ソーシャルワーカーが地域の福祉事務所や社会福祉協議会、難民申請者・外国人・ホームレス等の支援団体と連携をとり、相談、受診調整、結果報告などを行っています。



難民申請中の外国人やオーバーステイ外国人は医療保険を取得することも基本的に就労することもできないため、医療を受けることができない方が多くいます。数年前までは特別診療券の利用者のほとんどがこの外国人の方でした。しかし、昨年度から生活困窮者自立支援事業が始まり、利用者の幅が広がりました。就労していたけれど疾病の為に仕事に就けなくなり経済的に困窮し病院に受診できない、就労に必要な健康診断ができないために就労できないなどの理由により、一時的に利用する方が増加しました。当院で診療できない病状の場合は近隣の無料低額診療を行っている病院と連携をとり、受診できるように調整しています。無事に就労でき、この制度を利用しなくても受診できるようになったと報告を受け、ソーシャルワーカーとしてのやりがいを感じられることもあります。また、難民申請中やオーバーステイ外国人の方がどのような生活をしているのか、その置かれている立場について研修会などに参加し理解できるようにスキルアップをはかっています。

今後も、医療が必要な方に支援を行うことができるようにより地域とのつながりを大切に連携していきたいと思っています。



子ども達の時間

桜町児童ショートステイ 主任 篠原由美子

桜町児童ショートステイは、心身障害児の緊急一時保護を前身とし、当時の「よく食べ、よく寝て、楽しく遊ぶ」をもとに、現在は自宅以外の場所でも自信をもって過ごし、お手伝いや買物などの屋外活動の経験を重ね、当事業所での時間が自分らしく過ごせるよう、自立心・社会性・自主性の3つを柱に保育を行っています。

今年から子ども達と一緒に季節ごとの壁面制作を行い、階段の踊り場に飾っています。

また夏休み期間中は、別館の玄関前で毎年恒例の水遊びを行いました。水遊びの後はお風呂にも入り、雨続きの夏を元気に過ごしました。

桜町病院の1^キ圏内には、小金井公園をはじめ大小さまざまな公園、店舗、郵便局や公民館などの施設が多くあり、子ども達は自分の足でお気に入りのコースを開拓しています。

日々の積み重ねの中で、子ども時代だけではなく、成長して大人になってからの生活にもつながりのある支援をこれからも目指していきたいと思っています。

【子ども達の作品】



その人らしさを支える

小金井訪問看護ステーション 宮川由美子

訪問看護は、住み慣れた場所で安心して暮らせるように、看護師がご自宅に伺い医療と生活の両面を合わせて考え、支援していく役割を持っています。その方の状態にあわせて一番良いと思われることをご提案するのですが、「薬は飲みたくない」「体は拭かなくても大丈夫」「施設には入らない」等々、こちらの提案をかたくなに拒否されることは良くある光景です。でも周囲の人々には不自由そうに見えても、実はこのこだわりこそが、その方の生きる原動力となっていること



が多いように感じます。このような方々は実にパワフルで、こちらの想像以上に自立されています。

提案を拒否された時、我々はその方のこだわりや信念に耳を傾け、一緒に妥協案を生み出す努力をします。その結果お互いの妥協率が50/50となっても、利用者さんがホッとしたような柔らかい笑顔を見せてくれることがあります。完全なる勝者でもないのに何故なのでしょう。

それは自分のこだわり、そして自分らしさが守られたと思えたからではないかと考えます。”その人らしさ”に寄り添うケアは、常に専門的判断との板挟みです。でも利用者さんの生き生きとした姿を見たくて、その苦しみと闘い続ける毎日です。



ホームの楽しい時間

特別養護老人ホーム 桜町聖ヨハネホーム 副園長 芦澤みゆき

桜町聖ヨハネホームは昭和61年に設立した入所定員106床の施設です。

ヨハネホームでは、『敬老の日』は、豪華なお食事と、職員からは歌のプレゼントで、いらっしゃったご家族様と共に歌い、楽しいひと時を過ごしました。また、『中秋の名月』の日は当日天気予報とにらめっこで、外に出て月を愛でることは断念しましたが、皆の気持ちが通じて短時間ではありますがご利用者様、職員と共に同じ月を見て嬉しい気持ちを分かち合うことが出来ました。「文化の日」はいつも1年間の音楽サークル活動の発表会の日となっています。ご家族様もいらして楽しいひと時を過ごす事が出来ました。生活支援課が中心となってこのような取り組みを実施してきました。

また、栄養部は普段とちょっと違う場所と雰囲気でご利用者様におやつを楽しんでいただく事や郷土料理を日々の食事に取り入れて故郷を懐かしむことが出来る取り組みをしています。今回は信州そばでした。長野生まれのご利用者様はとても喜ばれていました。私たち職員は、それぞれの立場でご利用者様のために生活に彩りを加える企画を数々実施しています。



賑やかな敬老会

桜町高齢者在宅サービスセンター 三浦さとみ

デイサービス（一般型・認知症型）では、9月18日～9月23日まで「敬老週間」として賑やかに敬老会を実施しました。

和太鼓演奏のグループやウクレレ漫談、合唱や演奏会など多くのボランティアさんのご協力により日替わりでイベントを行い、昼食はお刺身やお寿司といった豪華な食事を職員やボランティアさんと共に談笑しながら会食しました。



日頃拝見できないようなご利用者の喜ばれる様子や楽しまれる様子に敬老週間の意義を感じているところです。

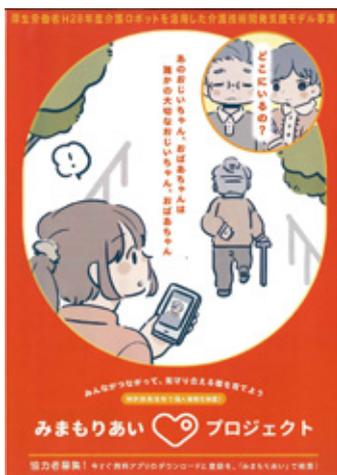
またイベントの合間には、最高齢者の方を中心に子供時代の思い出話や元気を保つ健康法などをたくさん伺い、楽しいひとときを過ごしました。

来年も皆さんの元気な笑顔と共に敬老をお祝いできればと心から思っています。



「みんなの安心・ささえ愛ネット」の取組み

小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター センター長 山極 愛郎



本町センターは、小金井市北東圏域における地域包括ケアシステムの構築のため、きた地域包括支援センターと共に地元の「けやき通り商店会」に旗振り役となっただき、「みんなの安心・ささえ愛ネット」の立ち上げを行いました。

同ネットは、地域包括ケアシステムを支える「互助」や「共助」の機能を、「人を見守ること」を具体的な行動目標として取り組んでいるところです。

見守りの具体は、社団法人セーフティーネットワークリンケージが開発した「みまもりあい」アプリをダウンロードしていただくことや「ささえあいネット」への加盟と協力等により実現しようと考えております。



まだ、始まったばかりの取組みですが、地道に活動の輪を拡げ、認知症になっても安心して暮らすことのできる街づくりの一助となれるよう努力して参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。



第41回学園祭

富士聖ヨハネ学園 課長 清水 真弓

障害者支援施設の富士聖ヨハネ学園では、第41回学園祭を10月29日（日）に開催しました。台風の接近が危ぶまれ、あいにくの天候にも関わらず、沢山の皆さんが足を運んで下さり、場を盛り上げていただきました。

今回の学園祭のメインテーマを『ひとりひとりが主人公』、サブテーマとして＜ひとりひとりの心のつながり、広い心になるように＞まさしく地域とのつながり、集いの場を大切にと設定しました。

地域団体からの出店は新しく2つの事業所が加わり22店舗、ステージでの出演団体は9団体の参加があり、うち7団体は地域からの参加でした。毎年、ヨハネ学園のステージでの出演を楽しみにしているグループもあると聞き、うれしい事と思います。太鼓や歌、劇、ダンス等で会場が盛り上がり皆さんと楽しい時間を過ごす事が出来ました。ステージは雨天の為リハビリ棟を利用し、飲食店に関してもリハビリ棟内、玄関入口になるべく配置してステージでの催し物を見ながら飲食出来る様に考えました。開始時間は10:00でしたがステージの前には既に沢山の皆さんが集まってくれました。司会は新人職員2名が挑戦、初めての学園祭でしたが、出演者紹介、沢山のアドリブ等入れながら面白可笑しく最後まで盛り上げてくれました。

このように学園祭を無事終わることが出来た事は、地元皆様をはじめ多くの方々の協力があった事の事だと心より感謝申し上げます。



支援センターどさまわり劇場

富士北麓聖ヨハネ支援センター センター長 米川 崇

10月に行われた第41回学園祭のステージに支援センターの皆で出演しました「大きな燕ならぬ大きなサツマイモ」の劇。途中からは綱引きの様相になり、最後は「八時だよ全員集合」のようなハチャメチャに！劇に続いて披露した「恋するフォーチュンクッキー」「エビカニクス」のダンスには会場の人達も一緒に踊り、外は冷たい雨が降りしきる中リハビリ棟は熱気と笑いに包まれました。

これに気をよくした私達は翌11月富士吉田市内の保育園・障害児通園施設との交流会を計画、歌



やパネルシアター、そして学園祭と同様のダンスを披露しました。こちらも最初に披露した利用者さんのマイクパフォーマンスが子ども達の心をわしづかみにし、大いに盛り上がり楽しい交流会となりました。

慰問されることの多い私達が慰問する側にまわる取り組み。今後も積極的にどさ回りの地域展開を図っていきたいと考えています。



楽しいイベントが盛りだくさん

清瀬聖ヨハネ支援センター 新屋 悟

障害福祉部門の東京地区は小金井市と清瀬市に活動の拠点があり、利用者さんの日中活動や支援や共同生活を支援しています。

清瀬市にある清瀬聖ヨハネ支援センターでは、今年度多くのイベントを実施しました。

まずは日帰り旅行9月29日（金）に年に一度のお楽しみ日帰り旅行に行きました。

今年の行先は群馬のこんにやくパーク。なんと無料のこんにやく料理のバイキング、「無料だからって食べ過ぎないように」ん？こんにやくだからだいじょうぶかな？

こんにやくの焼きそばやデザートまで笑顔でたくさん楽しめました。

センターにはイベントがたくさんあります。

8月にはセンターの夏祭り暑さも忘れるほど皆さん元気に楽しんでいました。

地域の方も一緒に大変盛り上がりました。

他には喫茶やコンビニへ買い物、地域のお祭りにも出店したり、月に一度の小グループ外出（サイボクハム、湯島天神など）スポーツ大会などなど。

今後もみんながニコニコ過ごせるイベントを企画していきます。

イベント大好き清瀬聖ヨハネ支援センターを今後ともよろしくお願いします。





走り終えて、大丈夫？と声をかけると「大丈夫だよー全然平気だよー」とさわやかに言う舛淵智貴さん。平成29年11月19日(日)、『心をつなげる福祉マラソン大会』に初めて参加し、見事優勝しました。表彰式ではいつになく緊張されていましたが、ずっしりと重い大きな金メダルがとても似合っていました。たくさんの方から「おめでとう」と声をかけていただいて、応援に行った私たち職員の方が嬉しくてはしゃいでしまいました。

舛淵さんは走ることが大好きで、そして応援してくれる方が大好きで、いつも笑顔で「応援ありがとねー、次もがんばるからねー」と言ってくれます。小金井聖ヨハネ支援センターでのお仕事が終わった後に練習をしています。自己ベストを更新し大きな大会に出ることができるよう、職員もサポート一生懸命がんばりますね。目標は大きく、世界大会を目指しています！

編集後記

来年は平成になって30年。本当に時の早さを感じます。天皇陛下の生前退位で平成31年からは新しい元号になるということですが、当法人も来年で創立78年。昭和・平成そして新たな元号になっても継続して存在意義がある法人として世の中に認められるよう今後も精進してまいります。(竹)

社会福祉法人 聖ヨハネ会にご援助を!!

会の福祉事業発展のために

私どもの福祉事業は大別すると下記の種類があります

桜町病院 (一般病棟・療養病棟・ホスピス病棟)

富士聖ヨハネ学園・富士北麓聖ヨハネ支援センター (障害者支援施設・障害福祉サービス事業)

桜町聖ヨハネホーム (特別養護老人ホーム・老人短期入所事業)

桜町・本町高齢者在宅サービスセンター (老人デイサービスセンター・老人居宅介護等事業)

小金井・清瀬聖ヨハネ支援センター (居宅支援・就労支援事業)

★銀行振込★

口座名 社会福祉法人 聖ヨハネ会 (普通預金) 三菱東京 UFJ 銀行小金井支店 No.4127570

★郵便局振込★ 00190 - 7 - 711126 社会福祉法人 聖ヨハネ会